

# VB1 よくあるご質問



## 全般

**Q: スタンバイモードと低電力モードの消費電力はどのくらいですか？**

A: スタンバイモード: < 2W、低電力スタンバイモード: < 0.5W

**Q: 低電力モードとはどのようなものですか？無効にすることはできますか？**

A: 一部の国のエネルギー規制では、VB1のような製品において、使用していないときに低電力モードに入ることで省エネを実現することが求められています。VB1はこれらの要件を満たしています。また、Bose Work Configuration/Managementで「Low Power Mode」(低電力モード)スイッチをオフに設定することで、簡単に無効にすることができます。

VB1は、スタンバイと低電力スタンバイの2つのレベルの省エネルギーモードを備えています。「Low Power Mode」(低電力モード)スイッチをオフに設定すると、両方が無効化されます。低電力モードがオンに設定されている場合、18分間非アクティブな状態が続くと、VB1はスタンバイモードになります。2時間操作しないと、VB1は低電力スタンバイモードになります。ロゴの下にある白いLEDがオフになるので、スタンバイまたは低電力スタンバイモードになっていることがわかります。

VB1がスタンバイモードにならないようにするための操作については、以下の表の最初の列をご覧ください。記載されている操作が18分間行われないうちは、VB1はスタンバイモードになります。この状態で、これらのうちいずれかの操作が行われるか、USBに接続されると、VB1はスタンバイモードから復帰します(以下の表の2列目をご覧ください)。2時間これらのどの操作も行われないうちは、VB1は低電力スタンバイモードになります。この状態で、VB1を低電力スタンバイモードから復帰させるには、本体上のボタンを押すか、IRリモコンで操作するか、USB接続をする必要があります。

VB1がスタンバイモードにならないようにする操作	VB1をスタンバイモードから復帰させる操作	VB1を低電力スタンバイモードから復帰させる操作
オーディオ入力(USB、AUX入力、またはBT)	オーディオ入力(USB、AUX入力、またはBT)	
本体上のボタンの操作(Mute、BT)	本体上のボタンの操作(Mute、BT)	本体上のボタンの操作(Mute、BT)
VB1のIRリモコンの操作		
BWCからのUSB通信	USBの接続	USBの接続
BWMまたはBWCからのWiFi/Ethernet通信	BWMまたはBWCからのWiFi/Ethernet通信	
Bluetooth接続がアクティブ	Bluetooth接続がアクティブ	
PCに接続し、DisplayLinkを使用してディスプレイを表示		

注: VB1がケーブルまたはWiFiでネットワークに接続されている場合は、低電力スタンバイモードにはなりません。

**Q: テレビのアナログオーディオ出力をVB1のアナログ入力に接続しています。VB1がスリープモードになっていない間はすべて正常に機能しますが、スリープモードになると、テレビからVB1のスリープを復帰できません。復帰させるためには、VB1をコンピューターに接続しなければなりません。VB1をオンのままにしておくには、またテレビのオーディオでスリープから復帰させるには、どうすればよいですか？**

A: アナログ入力は、低電力スタンバイからの復帰をサポートしていません。そのため、テレビからのアナログ入力が2時間ない状態が続くと、VB1は低電力スタンバイモードに入り、(翌日以降テレビをつけた場合など)新たにアナログ入力があっても低電力スタンバイモードから復帰しません。

テレビのオーディオ入力を使用する際に、常にVB1をスタンバイモードにならないようにするには、Bose Work Configurationから低電力モードをオフに設定する必要があります。

**Q: VB1で人数を計測する機能の追加予定はありますか？**

A: はい。将来のソフトウェアアップデートでこの機能が追加される予定です。

**Q: ポート番号、サブネット、検出方法など、ネットワーク接続に必要な要素に関する情報は提供していますか？**

A: VB1のWebページで詳細な情報をご覧ください。

**Q: VB1を使用するのにDisplayLinkを使用する必要はありますか？**

A: いいえ。カメラおよびスピーカー／マイクとしてVB1を選択するだけで、お使いの会議ソフトウェアでVB1を使用することができます。ただし、「ワンケーブルミーティング」機能を利用する場合にのみ、お使いのPCにDisplayLinkがインストールされている必要があります。この機能では、カメラやスピーカー／マイクに加え、(VB1のHDMI出力を使用して)USBケーブル1本で部屋のモニターを利用できます。

**Q: CTRL Inputポートはどのように使用しますか？**

A: 一例として、このポートをビルの火災警報装置に接続して、緊急の場合にVB1がミュートされるようにできます。

**Q: 1つのネットワーク上で何台までのVB1を使用できますか？**

A: 最大500台までの使用を試験済みです。

**Q: VB1は、前回ペアリングしたモバイル機器が範囲内にある場合に、自動的にペアリングを行いますか？**

A: いいえ。

**Q: VB1はカスケード接続をサポートしていますか？6 mよりも奥行きがある会議室や、幅の広い会議室で、2台のVB1を1つの部屋で使用することはできますか？**

A: いいえ。6 mよりも大きな会議室で、特にガラス張りなどの場合には、ES1などのボーズの固定設備用会議ソリューションをお勧めします。

**Q: IRリモコンの1と2の間にあるボタンは何に使用しますか？**

A: これはオートフレーミングのオン／オフボタンです。

## USB／USB-C／USB-A

**Q: テーブルまで導管を通したり、長さを延長したりするためのUSB-Cケーブルの延長キットはボーズから提供されますか？**

A: いいえ。ただし、サードパーティ製のエクステンダーを試験し、推奨モデルを公開しています。推奨するエクステンダーの一覧については、VB1のWebページをご覧ください。エクステンダーを使用する場合は、エクステンダーとVB1の間にボーズのUSB3.1ケーブル(2 m)を使用することをお勧めします。

**Q: 同梱されているUSB-A-C変換アダプターの仕様はどのようなものですか？**

A: USB3.1 Gen 1です。

**Q: サポートされている最大の(認証済みの)USBケーブルの長さはどのくらいですか？**

A: USB 2.0は5 m、USB 3.1は2 mです。

**Q: VB1はUSB-C接続を使用して設定できますか？またはネットワークポート経由でのみ設定可能ですか？**

A: どちらも使用できます。USBおよびネットワークインターフェース経由ですべての設定が可能です。

**Q: USBケーブル1本を使用した「ワンケーブルミーティング」では、どのディスプレイ解像度がサポートされていますか？**

A: 5 mのUSB 2.0ケーブルおよび2 mのUSB 3.1ケーブルを使用した場合、4K、1080pなど、すべての標準的な解像度がサポートされています。

**Q: VB1のすべての機能を使用するのに必要なUSB-Cケーブルの仕様はどのようなものですか？**

A: ボーズでは、VB1に付属またはVB1のアクセサリとして購入できるケーブル、または認証済みのUSBケーブルのみをお勧めしています。認証済みUSBケーブルまたは推奨のUSBエクステンダーを使用することで、すべての機能(カメラ、マイク、スピーカー、ディスプレイ出力)を利用できます。

**Q: コンピューターにUSB-Cポートがない場合、どの方法でVB1と接続できますか？**

A: VB1には、USB-CをUSB-Aに変換するアダプターが付属しています。

**Q: VB1のUSB-Cポートに接続できるのは、PCのみですか？ Android OS搭載の機器（スマートテレビやスマートフォン）を持っていて、(Type-Cなどの)コネクタをUSBに変換できる場合、クラウドUCプラットフォームを実行すると、VB1ではこれをサポートしますか？**

A: VB1では、USB経由で、Universal Audio Class(UAC)、Universal Video Class(UVC)、およびDisplayLinkの3つのプロトコルを使用します。これらのプロトコルをサポートしている機器をお持ちの場合は、オーディオ、ビデオ、およびビデオのパススルーは機能する可能性があります。ポーズでは、Windows、MacOS、およびChromeOS搭載の機器のみをサポートしていません。Linux機器でもすべてが問題なく機能する可能性は高いですが、公式にはサポートされていません。

**Q. VB1にはUSBエクステンダーは付属しますか？**

いいえ。ただし、ポーズでは推奨されるエクステンダーの一覧を公開しています。

**Q. VB1はUSB 2.0と3.0をサポートしていますか？**

A. はい。USB 2.0ケーブル(5 m、両端がUSB-Cコネクタ)が製品に同梱されており、USB 3.1ケーブル(2 m、両端がUSB-Cコネクタ)をアクセサリとしてご用意しています。

**Q. どの場合にUSB 2.0と3.0がそれぞれ推奨されますか？**

A. 製品には、5 mのUSB 2.0ケーブルが同梱されています。このケーブルは、4Kモニターを使用して「ワンケーブルミーティング」(HDMI-USB 2.0)を行う場合にも最適です。ケーブルが製品に付属すること、また、USBエクステンダーで延長する際にUSB 2.0は簡単でより安価であることから、ほとんどのお客様がUSB 2.0を使用します。ただし、ワンケーブルミーティングでは大量のデータが送受信されるため、高品質なエクステンダーを使用する必要があります。

一部のノートPCでは、USB 2.0経由で4Kビデオを送信する際にパフォーマンスの問題が発生する場合があります。USB 3.0はノートPCへの負荷がより低いため、このような場合にはUSB 3.0がより適しています。プロジェクトの予算により、USB3.0を検討ください。ただし、ほとんどの場合はUSB 2.0で問題ありません。

## 法令遵守

**Q: 米国のADAに準拠していますか？**

A: はい。Mud Ringアクセサリまたは付属の壁掛けブラケットを使用する場合、VB1の前面が壁から4インチ離れるため、ADAに準拠します。

**Q: VB1はHDCPIに準拠していますか？**

A: いいえ。

## Bluetooth

**Q: Bluetoothを使用して、VB1で通話をかけることもできますか？または、オーディオの再生のみに使用できますか？**

A: 通話とオーディオ/音楽の両方に使用できます。

**Q: VB1の側面のMuteボタンとBluetoothペアリングボタンはロックできますか？**

A: はい。

## HDMI

### Q: VB1のHDMI出力は、CECをサポートしていますか？

A: いいえ。ただし、多くのお客様が必要とされる場合には、将来のソフトウェアアップデートでこの機能が追加される可能性があります。

### Q: HDMI出力は何のために使用されますか？

A: カメラ、マイク、スピーカーのオーディオ、およびディスプレイを1本のUSBケーブルだけで利用できる「ワンケーブルミーティング」を行う場合に、HDMIポートを2台目のディスプレイに接続します。Microsoft Teams RoomやZoom Roomなど、会議室内のPCを使用した会議室システムでは、HDMI出力を使用する必要はありません。また、Teams Roomでは自動的に無効化されます。

### Q: HDMI出力が機能せず、画面が表示されないのはなぜですか？

A: お使いのPCでDisplayLinkが実行されていない可能性が高いです。<https://www.displaylink.com/downloads>から、最新のバージョンをダウンロードしてください。また、Bose Work ConfigurationでDisplayLinkが有効化されていることを確認してください。

### Q: VB1のHDMIポートに何も接続していないのに、ノートPCで2台目のモニターが検出されました。なぜですか？

A: これは、「ワンケーブルミーティング」機能の影響です。VB1にはDisplayLinkチップが搭載されており、PC (Windows、Mac、およびChrome) のDisplayLinkドライバーが、このチップをモニターとして検出してしまうため起こります。

### Q: DisplayLinkとHDMI出力は、工場出荷時に有効化されていますか？

A: いいえ。DisplayLinkは工場出荷時、および工場出荷時の設定に戻した後は無効化されます。これは、DisplayLinkを使用しない場合に、待機中のビープ音が鳴り止まなかったり、2台目のモニターが誤検出されたりするのを防ぐためです。HDMIケーブルには、HDMI出力を有効化する方法についての情報が記載されたラベルが付属しています。これには、DisplayLinkドライバーをインストールし、Bose Work ConfigurationアプリケーションからDisplayLinkを有効化するように記載されています。

### Q: ノートPCからプレゼンテーションを行う場合に、VB1でHDMI出力からのオーディオをパススルーすることはできますか？

A: いいえ。プレゼンテーションのオーディオは、VB1のスピーカーからのみ再生されます。

### Q: VB1のHDMI出力では、ARCまたはeARCをサポートしていますか？

A: いいえ。

## カメラ／ビデオ

### Q: VB1のカメラの視野角の仕様はどのようなものですか？

A: 以下の表をご確認ください。

	DV2以降
対角視野角 (DFOV)	123
水平視野角 (HFOV)	115
垂直視野角 (VFOV)	81
歪み (Imatestドットパターン)	-7%

### Q: オートフレーミングがオンになっていることはどこで確認できますか？

A: デフォルトでは、オートフレーミングはオフになっています。リモコンの1と2の間のアイコンを使用して、オン／オフを切り替えることができます。オンやオフになると操作に対応した音が聞こえます。通話中は、オートフレーミングがオフの場合には、短いLEDバーで緑に点灯します。オートフレーミングがオンの場合には、長いバーで緑に点灯します。

### Q: カメラのちらつき防止にはどのような効果がありますか？

A: ちらつき防止の設定は、カメラの画像センサーのサンプリングを、地域の電源周波数と同期させるために使用されます。

**Q: (VB1のHDMI出力に接続された)2台目のモニターで、ちらつきやビデオのドロップアウトが発生するのはなぜですか？**

A: 一部のDellモデルのDell USBポートでこの問題が確認されています。以下の2つの対処法をお試しください。

1. ノートPCのUSB-Aポートを使用する。
2. USB-Cポートで、VB1のアクセサリーのUSB 3.1ケーブル(2 m)、またはその他のUSB 3.x認証済みケーブルを使用する。USB-CポートがUSB 3の速度で使用されていると、この問題は発生しないようです。

**Q: VB1のカメラでは、プレゼンター／発言者を自動検出して、複数のプレゼンター／発言者を切り替えることはできますか？**

A: いいえ。現在は、グループオートフレーミングに対応しています。将来のリリースで発言者へのフレーミングが追加される可能性があります。

**Q: オートフレーミングと水平振り角／ズームは、会議が終了した後にリセットされますか？**

A: オートフレーミングは、室内の参加者を常にフレームに収めるようにするため、必要に応じて都度調節されます。水平振り角およびズームは、最後に設定された位置が維持されます。

**Q: VB1は、発言者を検出してカメラがフォーカスする「カメラトラッキング」機能をサポートしていますか？**

A: 現在業界では、グループと個人の、2種類のカメラオートフレーミングが使用されています。グループオートフレーミングでは、参加全員がフレームに収まるように水平／垂直振り角およびズームが調節されます。個人オートフレーミング(またはトラッキング)では、発言者がフレームに収まるように水平／垂直振り角およびズームが調節されます。個人トラッキングは、ズームインしないと誰が話しているか見えにくいような、大型の会議室で最もよく使用されます。小型の会議室では参加者全員がカメラに近く、発言者を認識しやすいため、個人フレーミングは必要ありません。

## マイク／オーディオ

**Q: ミュートの状態は、会議が終了した後にリセットされますか？**

A: 機器側ではリセットされませんが、新しい会議で使用するUCアプリで要求される状態に従います。

**Q: AUXアナログオーディオ入力には入力レベルのコントロールがあるのに、BluetoothとUSBにないのはなぜですか？**

A: Aux入力は、部屋に設置されたディスプレイからのオーディオ入力をサポートしています。Bose Work Configuration/Managementの「Aux Input」(AUX入力)コントロールを使用して、VB1の出力レベルを(レベルコントロールは1つしかありません)、適切なレベルに調節する必要があります。

BluetoothおよびUSB(PC)のレベルはVB1の出力レベルと同期しているため、スマートフォンやPC、またはVB1のリモコンのどちらからでも簡単に調節することができます。

**Q: 「Microphone」(マイク)画面の「Configure Room」(部屋の設定)の「Width」(幅)と「Depth」(奥行き)の設定のガイドラインはどのようなものですか？**

A: まず、これらの設定はVB1の実際のマイクのビームに影響するものではなく、画面上のマイクビームの表示上の長さを変更するものであることに注意してください。つまり、これらのパラメーターへの変更は、マイクの集音パターンや出力される音声には影響しません。この機能は、デモ用途のためのものであり、「Width」(幅)と「Depth」(奥行き)を調整してビームを短くしたり長くしたりすることにより、デモを見やすくするためのものです。

**Q: VB1では、Static(静的/固定)およびDynamic(動的/ダイナミック)両方のマイクビームステアリングをサポートしていますか？**

A: はい。工場出荷時には、Dynamicモードに設定されています。これは、99%の用途に適しています。要件の厳しい部屋では、Staticモードを検討するようにしてください。ただし、発言者が移動しない場合に限りです。

**Q: VB1のマイクビームステアリングは、どのようにして発言者の声を動的に追跡しますか？**

A: ビームトラッキングアルゴリズムでは、室内で最も高いエネルギーを常に検出し、それが、主に声(300 Hz~3 kHz)の帯域で構成されている場合、その場所にナロービームを割り当てます。

**Q: 「Microphone」(マイク)画面の長いビームは何を意味しますか？**

A: これらのビーム(長いビームも含めて)は、アクティブなマイクを表しています。5つのビーム(カラービーム4つ、ローミングビーム1つ)がオートマチックマイクミキサー(AMM)に入力され、AMMが最もアクティブなビームを常に検索します。発言している人を検出すると、そのビームが有効になり、他のビームが遮断されます。こうしたバックグラウンドでのビーム選択処理を示すために、長いビームの画像が使用されています。通常は1つのビームのみがアクティブになるため、聞き手側には部屋の残響が聞こえにくくなっています。

**Q: Dynamicビームモードはどのように機能しますか？**

A: ビームアロケーターにより、必要と判断した場所にDynamicビームが配置されます。ビームアロケーターが、(ローミングビームを含む)すべての5つのビームの角度をオートマチックマイクミキサー(およびBWCアプリ)に送信します。

AMMは、除外ゾーンの場所を認識しているため、ビームがその除外ゾーンに向けられた場合は、AMMがそのビームを抑制します。

**Q: VB1には、アコースティックエコーキャンセリング(AEC)は搭載されていますか？または、UCソフトウェアを活用しますか？**

A: はい。VB1にはAECが搭載されています。VB1が認定を取得しているUCクライアントでは、UC側のAECは自動的に無効化されます。

**Q: VB1では、補助リスニングなどのためのアナログ出力をサポートしていますか？**

A: いいえ。VB1は、USBおよびBluetooth Hands Free Protocolを介したオーディオ出力のみをサポートしています。

**Q: コントロール入力は、システムのミュートのみに使用されますか？**

A: はい。

## ソフトウェアおよび管理

**Q: Bose Work Managementアプリでは、複数のサブネット上のVB1を検出できますか？**

A: はい。ルーター上でIGMPが有効になっていれば、サブネット全体での検出が可能です。

**Q: 使用しているノートPCの管理者権限を持っていない場合に、その他の方法でDisplayLinkドライバーをインストールすることはできますか？**

A: いいえ。組織のITグループにお問い合わせください。

**Q. パスワードを変更した後で、新しいパスワードを忘れた場合にはどうすればよいですか？**

A. パスワードをリセットする唯一の方法は、機器を工場出荷時の設定に戻すことです。これを行うと、デフォルトのパスワード(Bose123!)に再設定されます。工場出荷時の設定に戻すには、次のいずれかを行います。

本体側面のMuteボタンとBluetoothボタンを5秒以上長押しします。

IRリモコンのホームボタンとオートフレームボタンを8秒以上長押しします。

**Q: Bose Work Configurationの「Camera」(カメラ)ビューで、カメラの準備ができていないと表示されているのはなぜですか？**

A: Windowsでは、一度に1つのアプリケーションにしかカメラの使用が許可されません。Teamsなど、カメラを使用している可能性のあるその他のアプリケーションを閉じてください。

**Q: 低電力モードがオンになっていても、Bose Work Managementを使用して、接続されたすべてのVB1の最新のステータスを追跡できますか？**

A: はい。EthernetまたはWiFiのいずれかのネットワークに接続されていれば、BWMアプリでVB1のステータスを提供し続けることができます。

**Q: ブラウザー経由でVB1に接続したいのですが、VB1のIPアドレスを知るにはどうすればよいですか？**

A: USBアプリを使うのが最も簡単な方法です。管理者モードを有効にすると、ステータスにIPアドレスが表示されます。もう1つの方法は、Bose Work Managementアプリを使用することです。これにより、ネットワーク上の機器を検出することができます。

**Q: 設定ユーティリティにアクセスするには、ドライバーのインストールが必要ですか？**

A: いいえ。ただし、USB経由で製品にアクセスするには、Bose Work Configurationアプリをダウンロードする必要があります。または、ChromeOSユーザーの場合は、ブラウザーにIPアドレスを入力することで、内蔵のWebUI経由でVB1の設定にアクセスできます。

**Q: (Managementアプリではなく) ConfigurationアプリとWebアプリの機能は同じものですか？**

A: はい。ただし、WebUIは、USBケーブルを同時に接続している場合にのみカメラのビデオをサポートします。

**Q: Bose Work Configurationユーティリティでは、どのようなアクセスレベルが利用できますか？**

A: すべてのユーザーが、水平／垂直振り角およびズーム、音量、およびプリセットにアクセスできます。管理者は、すべてのコントロールにアクセスできます。

**Q: 基本的なBluetoothの機能を使用するのに、Bose Workモバイルアプリをインストールする必要がありますか？**

A: いいえ。IRリモコンまたはVB1の本体上のボタンを使用してVB1とペアリングし、スマートフォンを使用してオーディオのストリーミングや通話を行うことができます。

**Q: Bose Work Managementアプリを使用してVB1を接続する前に、何らかの設定が必要ですか？**

A: VB1では、Bose Work Managementアプリケーションを実行する機器からアクセスできる、有効なIPアドレスが必要になります。VB1は出荷時にはDHCPモードに設定されているため、DHCPサーバーが検出された場合は、IPアドレスを取得します。DHCPサーバーが検出されない場合は、リンクローカルアドレスを生成します。

**Q. デフォルトのパスワードは何ですか？**

A. 「Bose123!」です。

**Q: Bose Work Managementでは、ボースのDSP製品の検出をサポートしていますか？**

A: いいえ。現時点では、Bose Work Managementでは、VB1のみを検出およびコントロールできます。将来、EX製品のサポートが追加される可能性があります。

## UC認定およびサードパーティ

**Q: VB1はTeamsの認定を取得していますか？**

A: はい。

**Q: VB1はその他のUCクライアントの認定を取得する予定はありますか？**

A: はい。現在、ZoomおよびGoogle Meetの認定を取得中です。

**Q: VB1がMicrosoft Teams、Zoom、およびGoogleの認定を取得していることは、何を意味しますか？**

A:

1. 認定を取得した製品は、それぞれのUCソフトウェアでより高い性能を発揮します。
  - a. UCソフトウェアで、内蔵のAECが無効化されるため、一般的により優れたオーディオ体験を実現できます。
  - b. VB1のミュートコントロールがUCソフトウェアと同期するため、VB1のリモコンやソフトウェアのミュートボタンを使用してミュートを操作できるとともに、同期を維持できます。
  - c. VB1の本体上の会議のインジケータで、UCの会議が進行中であることを知ることができます。
2. 認定取得製品は、それぞれのUCプラットフォームでのシームレスな統合と動作を保証するため、承認された独立した研究所で厳しいプロセスにより試験および検証されています。
3. オーディオ、ビデオ、およびUX性能の要件を満たしていることや、上回っていることが確信できるため、お客様には認定取得製品が好まれます。
4. UCクライアントによってソフトウェアアップデートが行われます。お客様が別途VB1に新しいソフトウェアをインストールする必要はありません。

**Q: VB1が各UCクライアントの認定を取得している場合、どの機能が利用できますか？**

認定取得済のデバイスにおいて利用できる機能は、ベンダーによってそれぞれ異なります。これらの概要は、以下のとおりです。

Microsoft Teams: Teams内のAECとオーディオプロセッシングが無効化され、マイクのミュートと通話のステータスが同期されます。

Zoom: AECが無効化され、マイクのミュートと通話のステータスLEDの同期が有効化され、カメラのコントロールがZoom Roomsに追加されます。

Google Meet: AECが無効化され、カメラのコントロールがMeet Roomに追加されます。Googleでは、音声コントロール(「OK Google...」)のサポートも追加されます。

**Q: Microsoft Teams RoomのPCに接続した場合に、VB1の動作で独自のものはありますか？**

A: はい。VB1は、Microsoft Teams Room (MTR)に接続されたことを自動的に検出します。接続されると、VB1では以下が無効化されます。

HDMI出力

GPI

アナログ入力

ネットワーク(有線またはワイヤレス)

**Q: どのUCクライアントで4Kをサポートしていますか？**

A: 現在、Lifesizeのみで4Kがサポートされています。Teams、Zoom、Meet、およびその他すべてのクライアントでは、最大1080pがサポートされています。

**Q: Bluejeans、WebExなど、「その他の」UCクライアントについて、認定を取得する予定はありますか？**

A: 現在、その他のUCクライアントの認定を取得する予定はありません。ただし、ボーズでは、WebEx、Bluejeans、Skype for Business、GoToMeeting、Starleafなど、上位10個のUCクライアントの互換性を試験し、互換性のないものについて情報を公開する予定です。

**Q: VB1をAMX/EXTRON/Crestronなどのサードパーティ製機器でコントロールすることはできますか？**

A: はい。ボーズでは、サードパーティ製機器でのコントロールに利用できるSNMP APIを提供しています。

**Q: VB1をPolycom/Cisco/Radvision/LifeSizeのMCUのエンドポイントとして接続することはできますか？**

A: いいえ。VB1は、Mac/Windows/Android PC上で実行されているソフトコーデックと接続されるように設計されています。

**Q. Teamsではライトバーが白く点灯するのに、他のUCクライアントで点灯しないのはなぜですか？**

A. ライトバーが白く点灯している場合は、PCが会議中またはBluetoothの通話中であることを示します。Teamsなど、VB1が認定を取得しているアプリケーションでは、VB1側で通話中であることを検知し、これをライトバーで表示します。

**Q. VB1のMute LEDがTeamsアプリと同期するのに、他のUCクライアントと同期しないのはなぜですか？**

A. この機能は、認定を取得しているすべてのUCクライアントでサポートされています。

**Q: サードパーティ製コントロールシステムでは、どの機能が利用できますか？**

A: 提供しているAPIにより、カメラのコントロール、オーディオのコントロール、設定など、Bose Workアプリから使用できるほぼすべての機能が利用できます。

**BOSE.COM**